浸水被害軽減効果一覧

令和８年６月12日　レベル３大雨警報（浸水害）

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量（㎥）	貯留量（㎥）	貯留率（%）
①　新羽末広幹線	港北、鶴見	ポンプ排水	410,000	3,392	1%
②　小机千若雨水幹線	緑、神奈川	ポンプ排水	256,000	63,215	25%
③　新羽調整池	港北	ポンプ排水	89,000	1,000	1%
⑥　飯島雨水調整池	栄	ポンプ排水	15,600	170	1%
⑦　蒔田雨水調整池	南		22,000	300	1%
⑧　江川雨水調整池	都筑		17,000	230	1%
⑨　たちばなの丘雨水調整池	旭		7,000	1,200	17%
⑩　金井雨水調整池	栄		6,000	980	16%
⑪　長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	8,270	15%
⑫　長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	1,370	7%
⑬　相沢雨水調整池	瀬谷		56,000	2,130	4%
⑮　獅子ヶ谷雨水幹線	鶴見		6,500	20	0%
⑱　万世雨水幹線	中、南		21,000	510	2%
⑳　初音雨水幹線	南		7,500	50	1%
合　計			－	82,837	－

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量（㎥）	貯留量（㎥）	貯留率（%）
①　鳥山川遊水地	神奈川	ポンプ排水	44,000	850	2%
合　計			－	850	－

総　計	－	83,687	－

25mプールで換算：　224　杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ１m×長さ25m＝375㎥

１　ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。
　　また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。
　　ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
２　その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。
　　※上記１、２の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
３　貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。